

# ♪ 懐かしの曲楽しんで ♪

# 施設でハーモニカ演奏

広島県福山市から4月に川本町に1ターンした小林秀穂さん(74)が、老人福祉施設などを訪れてハーモニカやオカリナを演奏するボランティアを始めた。闘病

中だった母親を癒やそうと楽器を始めた小林さんは「一人でも多くの人の役に立てばうれしい」と、新天地で期待を膨らませている。(福新大雄)

江津



ハーモニカの優しい音色を響かせる小林秀穂さん(右)

## 川本に1ターンの小林さん ボランティア活動始める

福山市生まれの小林さんは企業を退職後、今から10年ほど前に演奏活動を始めた。がんで入院していた母親の松美さん(享年84)に、病床での楽しみにしてもらおうと考えたのがきっかけだった。松美さんが亡くなった後は、仲間と共に福山市周辺の介護施設やイベントで演奏。多い時は年間60回ほどステージに立ったという。

古希を迎え、「自然豊かな田舎で暮らそう」と一念発起し、川本町が運営する空き家バンクに登録。2017年秋に同町川本の中古住宅を購入し、妻の恵子さん(75)と移住した。豊富な演奏経験を知った地元関係者の要請もあり、移住後、初めてとなる演奏会をこのほど、江津市桜江町川戸の介護付き有料老人ホーム「さくらが丘」で開い

た。応援に駆けつけた福山市在住の友人と共に、入所者ら約30人を前に「ふるさと」や「月の砂漠」「瀬戸の花嫁」など、おなじみの曲を披露。入所者たちが、懐かしいメロディーを口ずさみながら聞き入った。小林さんは「地域のお年寄りたちに少しでも喜んでほしい」と話し、同好の士の参加も呼び掛けた。

## 張り出し舞台を設置

アマ劇団 通し稽古の準備整う  
打歌一座



益田

益田市中垣内町の住民有志を中心とするアマチュア劇団で、8月に地芝居公演